

事業番号	05 08 18	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信濃学園運営費			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	障がい者支援課		
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実		E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法に基づく障害児入所施設として、社会的に自立するために必要な知識・技能の習得を支援し、利用者が地域、家庭等での生活を希望する際には、地域生活移行を推進する等、利用者個々のニーズに応じた個別支援を充実することにより、それぞれが希望する生活ができるよう目指す。 家庭における療育環境の整備と継続に必要な支援を行い、自立と地域生活の継続を目指す。
------	---

現状	<ul style="list-style-type: none"> 児童施設であることから、成人後は成人施設への移行や家庭やグループホーム等の地域生活への移行が必要である。しかし、現状では、家庭療育が困難な児童、被虐待児童等の措置入所利用者が増加していることや、グループホーム等の受入先が満床であること等から地域生活への移行は困難である。引き続き関係機関と連携し、地域生活移行を推進していく必要がある。 日中一時支援事業及び在宅障がい児の療育支援相談会「こまぐさ教室」等により、在宅障がい児の療育の向上に努めている。
----	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：困難	障がいの重度な児童及び被虐待児等の受入れ等、県内唯一の障害児入所施設として、セーフティネットの機能を果たす必要があるため。

事業内容	① 成果目標(H25)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○入所者への適正な療育の実施(入所者数:29人/年平均) ○在宅障がい児への療育支援(こまぐさ教室:81人/年) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績		
				H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
		指定管理委託料	指定管理	信濃学園の管理運営を指定管理者((社福)長野県社会福祉事業団)に委託する。	165,915	180,478
	指定修繕委託料	指定管理	共有スペースにエアコンを設置する。	1,401	1,390	
	公用車更新	直営	更新基準を充たしている公用車を更新する。	2,311	2,050	
	洗濯脱水機更新	直営	H26新規事業			1,653
	指定管理者制度第三者評価経費	直営	H26新規事業			91
	合計			169,627	183,918	160,663

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	301,126	178,876	169,627	160,663
	補正予算	-2,844	4,851	15,262	
	合計(A)	298,282	183,727	184,889	160,663
	国庫支出金	16,116	12,149	25,684	14,119
	県債				
	その他()	106,562	1,224	2,430	2,706
	一般財源	175,604	170,354	156,775	143,838
	決算額(B)	297,621	181,182	183,918	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費	4,129	4,129	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	301,750	185,311	188,047	164,792	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	目標
入所者数(人/年平均)	28.3人	29人	28.5	達成	-
在宅障がい児への療育支援	72人	81人	181人	達成	72人
移行者数(人)	2人	-	2人	-	3人

目標に対する成果の状況	<p>個別支援計画に基づいた支援により、利用者一人ひとりのニーズに応じた専門的支援の提供を行った。</p> <p>早い段階での関係者によるケア会議等の実施により、早期の地域生活移行プログラムの作成に努め、2名が地域生活等に移行した。</p> <p>在宅障がい児の療育支援として「こまぐさ教室」の相談会を8回(参加者53名)、公開講演会を1回(参加者133名)開催した。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 入所利用者個々のニーズに応じた処遇向上や地域生活移行の促進、在宅障がい児の支援の充実に努める。 H23年度から導入した指定管理者制度により、引き続き民間能力を活用した効率的な運営を行う。
--------------------	--